

第十六回帝國議會 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治三十五年二月二十日午後一時三十四分開議

出席委員左ノ如シ

市岡 政香君

和泉

邦彦君

花井

卓藏君

石谷 董九郎君

星

松三郎君

出席政府委員左ノ如シ

臺灣總督府

後藤 新平君

內務書記官 森田 茂吉君

○花井卓藏君

委員長

第二回ノ速記ニ、意味ノ徹底セヌコトガ揭ゲラレ

テアル、私ハ誤字デアラウト思フノデアルケレドモ、訂正デアリマスカラ

シテ、其異ナリタル點ノミヲ此所ニ舉ゲテ、訂正ヲ致シテ置ウト思フノデア

リマス、餘リ甚シイ間違デアルカラ、訂正ヲスルノデス、本案委員會會議錄

速記ノ第二回三頁上段「此法案ハ事實トシテハ可決セラレテアル」ト掲ゲラレ

テアルノハ「此法案ハ事實トシテハ可決セラレタル場合ニ於テハ」ト云フコ

トノ間違デアリマス、同頁下段命令ヲ以テ法律ノアルベキ効ヲ有スル法則

ヲ「トアルノハ」命令ヲ以テ法律ノ力ヲ有スベキ若クハ法律ニ代ルベキ効力ヲ

有スル法則ヲ」ト云フコトノ間違デアリマス、次ニ矢張同シ所デ、一行ヲ隔

テ、「臺灣ニ施行スベキ法律ト云フモノハ」トアルノハ「臺灣ニ施行スベキ法

律ヲ造ッテ居ルト云フコトハ」ト云フノ間違デアリマス、大抵ノハ宜イノデゴ

ザイマスガ、餘リヒドイカラ、ツレカラ四頁ノ上段「六十三號ノ法律ハ」云々

「二十三年ニ延期ノ議案ガ出タ時ニモ」云々トアルノハ「六十三號ノ法律ハ」云

云「三十一年デアリマス」三十一年ニ延期ノ議案ガ出タ云々」ト云フコトノ間

違デス、ツレカラ同頁同段ニ「六十三號發布ノ理由ノ如ク見ラル、ニモ拘ハラ

ズ」云々トアルノハ「六十三號發布ノ理由ニ維持ノ理由ノ如ク見ラル、ニモ

拘ハラズ云々」ノ誤リデアリマス、直グ其次ノ行ノ「内地ノ同一ノ法令」トアル

ノハ「内地ト同一ノ法令」ノ間違デアリマス、ツレカラ同頁ノ下段「臺灣ノミニ

行フベキ法律デアナイノデアル多クハ内地人ニ行ハントスル所ノ性質ノ法律

デアアル」ト云フノハ「臺灣ノミニ行フベキ法律デアナイノデ多クハ内地人ニ行

ハル、性質ノ法律デアアル」ノ間違デアリマス、ツレカラ同頁同段臺灣ノ先例ヲ

爭ヒタル私ノ質問ノ中ニアル所デス、其中ニ「内地ニ專ラ行ハントスル性質ノ

法律デアナイト考ヘル」トアルノハ「内地ニ專ラ行ハントスル性質ノ法律デア

ト考ヘル」ノ間違デ、是ハ反對ニナッテ居ル、ツレカラ「歸納タル根本タル運用

ヲスル條項ニ於テハ」トアルノハ「法律ノ主腦タル」ト云フノガ歸納ト書イテ

アル「法律ノ主腦タル目的ヲ運用スル條項」ノ間違デアリマス、其直グ下ニ

「内地人ニ重ニ」トアルノハ「内地人ニ重キ置イテ」ノ間違ヒ、ツレカラ其三行程先

キニ「更ニ問ヲ進メマスデ」ト書イテアルノハ何ノコトカ分リマセヌ「更ニ

問ヲ進メテ宜ヒ」云々ノ間違ヒデス、其下ニ「臺灣巡査ノ關係」トアルハ「臺灣ノ

巡查看守ノ關係」ノ間違ヒ、其次ニ「事業トシテハ内地ノ巡査ハ臺灣ノ巡査デ

アル」ト斯ウ掲ゲラレテアルノハ「事實トシテ内地ノ巡査ハ臺灣ノ巡査デハナ

イ」ノ間違ヒ直グ其下ニ「到底事實論トシテ絕對ニ適用ヲ得ベキ場合」トアル

ノハ「到底事實論トシテ其適用ヲ爲シ得ベキ場合ト想像ガ出來ナイノデア

ル」ノ間違ヒ、ツレカラ五頁ノ上段ニ「今度即チ臺灣ニ云々」トアルノハ「本案即

チ臺灣ニ云々」ノ間違ヒ、其下段ニ「遺族扶助料ヲ課スルノ法律云々」ハ「遺族扶助

料ヲ與ル法律云々」ノ間違ヒ、六頁ノ上段、是モ議論ノ爭ヒデ極メテ大切ナル

トコロデアリマスガ、第一行目ニ「出來ヌ」トカ云フヲ「ナスヲ要セズ」ト

書イテアルノハ「ナスヲ」ト云フ文字ハ無用ノ文字デ、第二行ニ「二十八號ガ」

トアルノハ「三號云々」ノ間違ヒ、此所デハ小サイ間違デアナイ、ツレカラ第三

行ノ「臺灣ニ行ハレテ居ルモノデアアル」トアルノハ「臺灣ニ行ハレテ居ルノデ

アル」ノ間違ヒ、其下ニ「此度ノ法律ハ六十三號ノ云々」ト掲ゲラレテアルノ

ハ「此度ノ法律ハ別箇獨立ノモノナレバ六十三號ノ云々」ト云フノ間違ヒ、第

五行目ノ「是ハ」トアルノハナシデ、七行目ハ「既ニ行ハレテ居ル所ノ法律三

十八號ハ云々」トアルノハ「行ハレ得ベキモノデアアル而シテ法律三十八號ハ云

々」ノ間違ヒ、ツレカラ九行目ニ「又六十三號ニモ斯様ニ過大ナ權ハ含マレテ

ナイ」トアルノハ「六十三號以外デアアルナド、云フコトハ議論スル程ノコトハ

無イト思フ」ト云フノ間違ヒ、ツレカラ同頁ノ同段ノ處ニ「一般ノ立法方法ニ

出ズル」トアルノハ「一般ノ立法方法ニ依ッテ作ル」ノ間違ヒ、下段ノ四行目ニ

「第一條ノ權限ニ依ッテ爲シ」トアルノハ「第一條ノ權限ニ依ッテ定メ」ノ間違

ヒ、其下ニ「狀態」ト云フ文字ガアリマスガ是ハ「コト」ト云フノ間違ヒ、ツレ

カラコ、ハイクツモ固タメテ言ッテ置キマスガ、私ノ不辯ニシテ速記者ニ聞キ

取リ惡カッタノデセウガ、「括ッテ行ケル」ト屢々使ッテ居ルノデアリマスガ、

是ニハ皆「クッテ行ケル」ト書イテアル、「括ッテ行ケル」ト云フコトニ直シテ貫

ハヌト、讀メテ行ケル」ト書イテアル、「括ッテ行ケル」ヲ「括ッテ行ケル」ニ

更ニ總テ訂正ヲ致シテ置キマス、二十三行目ニ「法律心云々」ト書イテアル

ノハ「方針」ノ間違ヒ、是ハ僕ノ間違ヒデヤナイ速記ノ間違ヒ、二十八行目

ニ「若モ斯様ナ政府ノ其力モ」トアルノハ「若モ斯様ニ委任命令ノ力」ノ間

違ヒ、二十九行ハズツトアルカラ寧ロ私ノ云フヤウニ讀デ見マシテ讀ダ通リ

ヲ事實トシテ貫ッテ、當行ノ速記錄ノ間違ヒト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ

「臺灣ニテハ働キハ出來ナイモノト御覽ニナラバ」ト云フノガ正シイノデ

アリマス、ツレカラ三十五行目ニ「保安條例ト云フ惡事ヲ爲ス云々」ト

トアルノハ「保安條例ノ制定ト云フガ如キ惡事ヲ爲ス云々」ト

云フノ間違ヒ、ツレカラ一番末ノ行カラ一ツ前ノ行ニ、一般的ノ法律ニ依ル

トアルノハ「一般的ノ立法手段ニ依ル」ノ間違ヒ、七頁ノ下段是ハ行ハ言ヒマセヌガ「無限ノ間ニ不限ノ間」ト云フコトガアル、限リ無クト斯ウアル、是ハ言ハズデ「無言不言」ノ間違ヒ、是ハ限リナキ言ト云フ字ニ改メテ貫ヒタイ、ソレカラ唯今ノ所カラ三行目ニ「或ハ臺灣ニ於テ變則ノ立法手續ヲ取ルベク、斯様ニ區々ニ認メラレテ居ルモノカ否ヤト云フコトハ宜シク研究ヲ要スベキ問題云々」ト云フコトニ訂正ヲシテ貫ヒタイ、二三字ノ間違デスガ、寧ロ讀ンダガ早イカラサウシテ置キマス、ソレカラ唯今ノヨリ三行ヲ隔ツタ所ニ「明治二十九年三月三十一日發布」トアルノハ「明治二十九年三月三十一日以後ニ發布」ノ間違デス、ソレカラ八頁ノ下段私ガ市岡君ノ意見ヲ贊成シタ所ノ部分デス、其處ニ「豫算案ナクシテ」トアルハ「豫算案ニ伴フ材料ナクシテ」ノ間違デス、右ノ通り第二回ノ速記録ニハ訂正ヲシテ諸君ニ讀ンデ戴キタイト思ノデス、ソレダケデス——ソレカラ一點御尋ヲ致シテ置キタイノデス、先般モ御尋ヲシタノデアリマスガ、六十三號ノ第五條ニ依ッテ見ルト、「現行ノ法律若クハ將來公布スル法律ニシテ、其全部或ハ一部ヲ臺灣ニ施行スルコトヲ要スベキ場合ニ於テハ總テ勅令ヲ以テ定ム」ト斯ウ掲ゲラレテアリマス、即チ現在ノ法律デモ將來發布セラレベキ法律デモ、總テ臺灣ニ施行スル場合ニアリテハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムベキモノデアルト云フ事柄ニナツテ居リマス、此勅令ヲ以テ施行ヲ定メルト云フ事柄ハ、法律ノ現ニ存スルト將來ニ出ルモノトニ拘ラズ、總テ此法式ニ依ラネバナラヌモノデアラウト考ヘテ居リマス、又其意味デナケレバ、第五條ハ讀ミ得ナイノデアル、然ルニ此森田君ノ此點ニ關スル答辯ヲ承リマス、本案即チ臺灣ニ在勤巡查看守退隱料ニ扶助料ニ關スル法律ト云フモノヲ、本院ニ於テ可決シタル曉ニ於テハ、別段ニ六十三號ノ五條ノ手續ニ基イテ、勅令ヲ以テ施行スベキコトヲ定メルノデハナクシテ、此法律自體ガ、此法律案自體ガ可決ノ曉ニハ、法律トナツテ、其法律ハ直チニ五條ノ手續ヲ要セズシテ、勅令ヲ以テ施行スルコトヲ定メズシテ、直グニ行ハレルモノデアルト答ヘラレタヤウニ聽取ツテ居ルシ、又速記録ニモ書イテアル、サウ致シマス、五條ニアル將來發布スル法律ニシテ、施行ヲ要スルモノハ、勅令ヲ以テ定ムト云フ事柄ハ、如何ニ御理解ニナツテ居ルノデアルカ、又森田君ノ此點ニ附イテ答辯スルコトハ、此點ノミデハナク、全體法律ノ力ヲ有スベキ委任ノ命令若クハ六十三號ノ法力ノ及ボス範圍杯ト云フ事柄ニ附イテ御答ハ、平生ノ森田君トハ思ハレナイ程曖昧模稜デアル、法律ノ上カラハモウ殆ド聞惡クキガ如キ御答ニナツテ居リマス、先ヅソレハ暫ク措イテ、唯今ノ點ニ附イテ一ツ確メテ置カネバナラヌ、ソレヲ私ガ感ヲ起シタノハ、答辯ガ段々進ンデ參リマシテ、最後ニ於テハ本案ハ恰モ内地及臺灣ノ兩地ニ共通スベキ兩様ノ性質デアルガ如クニ答ヘラレタヤウニ思ハレル、又サウナクテハナラヌト私ハ思ヒマス、若モ共通ノ性質ヲ帶ブルモノデアルト云フ事柄ニナリマス、一部内地ニ行ウベキ場合ニ於テハ、素ヨリ何等ノ規定ヲ要セズシテ、法律其儘デ宜シウゴザイマセウガ、一部臺灣ニ行

フベキ場合ニ於テ、其行フベキ部分ニ對シテハ、矢張六十三號、第五條ノ規定ニ依ッテ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムカラ法律ヲ施行スル旨ヲ規定シナケレバナラヌト思ヒマス、六十三號ノ制定ノ當時カラ見レバ、本案ハ取リモ直サス第五條ノ所謂將來ニ發布スル法律ト云フノニ、是ハ該當スルノデアル、一部ノミデハナイ、全部ヲ行フ場合ニ於テモ、私ハ尙且然リト思フノデアル、是ハ内地並ニ臺灣領土ニ共通ノ法律ト云フガ故ニ、帝國議會ノ協贊ヲ經ルコトハ、或ハ正鵠ヲ得テ居ルカモ知レヌト考ヘテ居リマス、若シ左様デアルト致シマシタナラバ、此法律ト云フモノヲ矢張六十三號五條ノ規定ノ下ニ於テ、働カサナケレバナラヌ事柄ハ、論ヲ待タヌデアラウト思ヒマス、此等ノ邊ノ意味ガ、殆んど要領ヲ得テ居ナイ、之ヲ先ヅ伺ツテ置キタイ、若又將來發布スル法律ト云フ事柄ハ、是迄ノ慣例ニ於テハ、ソレ等ノモノニ對シテ勅令ヲ以テ定メタル實例ハナイノデアルト云フ事柄ニナリマス、實例ノ有無ニ拘ハラズ、五條ニ掲ゲラレテアル將來發布ノ法律ト云フモノハ、政府ハ抑、如何ナルモノヲ意味スル御考デアアルカト云フコトヲ、併セテ問ハナケレバナラヌト思ヒマス、參考ノタメニ戴キマシタ法令ヲ、少シク研究ヲ致シテ見マシタガ、隨分慣例ノ上ニ於テハ、許スベカラザルモノガアルカノ如ク考ヘテ居リマス、凡ソ此法案ノ如キ甚シイモノハナイ、區々タル巡查ニ對スル費用ニ關スル法律デハアルケレドモ、響ク所ハ帝國議會ハ臺灣總督府ニ授ケタル、委任ノ權限ト云フモノヲ有効ナリト致シマシタナラバ、其運用ニナレバ宜シクナイト云フ事柄ニ歸着スル事柄ニナツテ、或ハ六十三號贊成ノ理由トモナリ、反對ノ理由トモナリト思ヒマス、是等ノ點ヲ御答辯ヲ煩シタイ、其御答辯ヲ承リマシタ上デ、尙質問ハ段々ニ進ンデ行カネバナラヌ

○政府委員森田茂吉君 御議論ニ涉リ點ハ、別ニ私ノ方カラ其時機ニ至リマシテ、必要ニ應ジテ答辯ヲ致スコトニシマセウガ……

○花井卓藏君 チョット一言致シタイノデスガ、無論議論ニ涉リタル質問ヲシタノデアリマス、寧ロ事實ハ避ケル方法ノ私ハ御尋ヲシタノデアリマス、立法院デアリマスカラシテ、議論ニ向ツテノ爭ヲ決スベキ場所デアアル、立法ノ場合ニ於テ事實ハ參酌ハシナケレバナラヌケレドモ、大概ハ事實ヲ避ケテ議論ノ方ガ短カクテ濟ムノデアリマスカラ、議論ノ質問デアリマス、議論ヲ以テ御答ヲ得ンコトヲ望ミマス

○政府委員森田茂吉君 此出テ居リマスル法律案ガ若シ可決ニナリマシタ時ハ、六十三號ノ五條ニ依ッテ再ビ勅令ヲ以テ臺灣ニ布クカト云フコトノ、御問ノヤウデスカラ、ソレハ政府ノ考デハ其必要ガナイ考デ居リマスノハ、既ニ法律自身ガ臺灣ニ布クト云フコトヲ明命シテアリマスモノハ、特ニ又六十三號ノ五條ニ依リマシテ、其法律ヲ臺灣ニ布クト云フ事柄ヲ、再ビセヌデモ宜イト云フ考ヲ持ツテ居リマス、現ニサウ云フ解釋ニ依リマシテ、今日マデ出テ居ル法律ハ、其系統ヲ探ツテ居リマス、即チ一般ノ官吏恩給並ニ遺族扶助料法、ソレカラ臺灣銀行法、ソレカラ臺灣陸軍々法會議法ト云フ如キ法律ハ、既ニ

臺灣ニ行フト云フコトヲ意味シテアルモノハ、別段ニ六十三號ノ五條ノ勅令ニ依ッテ、再ビセナイデ宜イモノデアルト云フ解釋ヲ採ッテ今日マデ仕來ッテ居リマス

○花井卓藏君 分リマセヌ、分リマセヌガ、唯今御答ノ中ニ、性質上臺灣ニ施行スベキ法律ハ、六十三號第五條ノ手續ニ依ルヲ要セナイモノデアアル、實例ニモアル、斯ウ云フ事柄ノ御答ニナッテ記憶シテ居リマス

○政府委員森田茂吉君 實例デハナイ法律ガアル

○花井卓藏君 私人云フノハ、慣例デ、實例ガアルト云フ事柄ニ聽取ッテ宜シウゴザイマスカ、然ルトキハ本案ハ臺灣ノ領土ニミ行フベキ法律ト云フコトヲ、御認メニナリマス

○政府委員森田茂吉君 是ハ三十八號ノ法律ガ、臺灣全體及内地ニモ行ッテ居ルモノ、其法律ノ取除法デアリマスカ、此法律ノ内容ハ何所ニ專ラ應用セラレルカト云フ事柄ハ、別問題トシテ、法律ニナッテ出マス以上ハ、内地モ臺灣モ同列ニ居ル法律ノ意味デアリマス

○花井卓藏君 内容ノ論ハ聞クヲ欲セヌデアリマスカ、既ニ内容ト云フコトヲ云ハレ以上ハ、私ハ内容論トシテ聞イデ置キタイ、即チ此法律ハ内容トシテハ、臺灣ノミニ行フベキモノデアルト御認メニナリマス

○政府委員森田茂吉君 勿論臺灣ノミニ行フデアリマスケレドモ、關聯シマス所ハ、内地ノ巡查ガ臺灣ニ行キマス、年數ノ計算ノ如キ無論共通シテ居マスカ、關係スル所ハアリマセヌケレドモ、正面ノ上カラ申シマス、臺灣ノ巡查看守ニ關シテ、特典ヲ施スト云フニ過ギマセヌ

○花井卓藏君 サウスルト、ドウ云フ意味ニナルデセウカ、森田君ノ先般來ノ答辯ト云フモノハ、幾ツニモナッテ居リマスカ、極グ明ニ答ヘテ戴キタイノデアッテ、又明ニ答ヘ得ラレルコトデアアル、森田君ハ「ケレドモ」ト言出スカ、常ニ前ノ方ガ打消サレテ分リマセヌカラ、私ノ問ト云フモノガ益々進ミマスルガ、斯ウ問ヒマセウ、第一ニ本案ハ明治三十四年法律第三十八號ノ改正法律案ト心得テ可ナルヤ否ヤ、第二ニ本案ハ獨立シタル一ノ法案ト見テ可ナルヤ否ヤ、二者何レモ性質上カラ云フノデス——性質ノ上ニ於テドウデアアルカ、第三ニ此法律ノ及ブ範圍即チ法力——法律ノ力ノ及ブ境域ト云フモノハ、臺灣ノミニ限ラレタルモノト見ルベキモノナルヤ否ヤ、第四臺灣ハ勿論内地ニモ矢張りハルベキ性質ノ法律デアアルヤ否ヤ、但シ内地ニモ行ハルベキ性質ノ法律ナルヤ否ヤト云フト、語弊ハアリマスカ、是ハ實際論ノ方カラ云フノデスカ、御注意ニナッテ御答ニナレバ宜シイ、實際ノ上ニ於テ内地臺灣共通ノ法律ナルヤ、實際ニ於テ臺灣ノミニ行ハレルヤ否ヤ

○政府委員森田茂吉君 御答ヲ致シマス、詰リソレハ法律ノ解釋論ニナリマスカ、ソレヲ今私ガ此所デ續々述ベマシタ所デ、何ノ詮モアリマセヌカラ、御認メニ任ス外、途ハナイト思ヒマス

○花井卓藏君 何ガ法律論デセウ、何ガ法律ノ解釋論デセウ、此法律案ノ提出者ハ政府デハナイカ、政府ガ提出シタル法案ニ對シテ、其法案ノ境域ヲ尋ネ、若クハ區域ヲ尋ヌルト云フ事柄ハ、立法問題ニ附イテ大切ナル點デアアル何シニ委員ハコソナ法案ヲ出シタカ

○政府委員森田茂吉君 其點ニ附イテハ、前回以來續々述ベマシタ如クデアリマシテ、詰リ三十八號ノ改正案法律ノ形式カラ云フト、即チ特別法ト政府ハ認メテ居リマス、ソレカラ今度ノ法律案ノ行ハルベキ區域ト云フモノハ、帝國全軀臺灣ヲ含シテ行フモノデアルト云フコトニ、政府ハ解釋シテ居リマス

○花井卓藏君 先刻性質上、臺灣ノミニ行ハレルト云フ御答ハ、嘘デスカ

○政府委員森田茂吉君 ソレハ内容ト申上ゲマシタ、即チ臺灣ノ巡查看守ト云フモノニ行フ法律デ、内容ハ規定シテ居リマスカ、其法律ハ即チ帝國議會ノ協贊ヲ經テ出マス以上ハ、法律ノ形式トスレバ全軀ニ行ハレルモノデアアル、其中ニ規定シタコトハ、重ニ臺灣ノ巡查看守ノミニ關シテノコトヲ規定シタノデアリマスト云フコトヲ、申シマシタ

○花井卓藏君 此ハ此場ニ於テ御諮リヲ致シタイ事柄ガアルノハ、含マレテ居ル即チ法案ヲ含マレテ居ル關係、巡查看守ノ退隱料扶助料云々ニ外ナラヌノデアリマスケレドモ、法律ノ性質トシテ大ニ研究スベキ立法上ノ問題ガアルデアラウ、若クハ憲法上ノ問題ガアル、若クハ六十二號ニ依ッテ授ケラレタル權限ニ關シテ、研究スベキ點ガ多イト思フ、臺灣ニ於ケル實例ト云フモノモ、頗ル澤山アルヤウデアリマスカ、本員ノ手ニ致シマシタノハ、僅カニ一兩日前ニ過ギマセヌカラ、十分研究スル餘地モナイ、茲デ諸君ノ御清聽ヲ煩ハシテヤカマシク、理窟ヲ述ベタ所ガ際限ガアリマセヌカラ、此場合ニ若ハ三名ノ委員ト云フモノヲ、此委員會ニ於テ選出シテ、此等ノ關係ヲ臺灣ニ於テ行ハル、總テノ法律命令ノ上ヨリ審査シテ、本案ノ適切ナルヤ否ヤト云フ事柄ヲ答辯シテ戴キタイト思ヒマス、然ル後ニ會議ヲ開クト云フコトニナリマス、質問モ減ズルシ、審議等モ或ハ進ムカモ知レヌト思ヒマス

○政府委員後藤新平君 今ノ花井君ノ御要求ハ、是ニ關係スル他ノ法律ノ關係マデハ、審査ノ上デナケレバ議スコトハ出來ナイカラ、其審査ヲ茲デ二名ナリ三名ナリノ委員ヲシテ、其審査ヲセシメタ上デシヤウト云フノデアリマスカ

○花井卓藏君 左様デゴザイマス

○政府委員後藤新平君 ソレハ委員長ノ御決定ニアリマスカ、別ニ政府委員ニ於テハ意見ハゴザイマセヌガ、ドウカ此他ノ委員ノ御方ニ於テデスナ、此本案ノ質疑ノ大要ニ於テ云フコトデアッタナラバ、此議事ノ進行ヲ希望スルノデアリマス、何トナレバ此巡查看守ノ退隱料遺族扶助法ニ關係シテハ、攷究スル點點モ多クアリマセウガ、既ニ他ノ退隱料遺族扶助法ト云フモノガ出テ居ッテ、ソレトノ權衡ヲ計ッテ、巡查看守現在ノ勞ニ酬ムルタメ宜シキヲ得セシムルニ外ナラヌノデアラウ、其大主眼ノアル所ヲ御諒察下サレテ、議事ノ進行ヲ偏ニ希望致シマス

○花井卓藏君 私人議事ノ進行ヲ妨ゲルノデハナイ、又本案ニ含マレテ居ル

第五類第二十一號 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案委員會會議錄 第三回 明治三十五年二月二十日 一七

關係ニ同情ヲ表セヌノデハナイ、寧ロ私ノ考ト云フモノハ、臺灣ノ當局ガ私ノ議論ニシテ適當デアツタナレバ、關係スベキ性質デアルト考ヘマス、即チ此性質ガ——此法律ノ性質ガ内地ノ關係ト云フモノヲ離レテ、臺灣ノミニ行ハレ得ベキモノトシタナラバ、即チ所謂臺灣領土ニノミ法律ノ力ヲ有スル、所謂六十三號ノ授權命令ニ於テ、隨意ノ立法ガ出ルデハナイカ、曾テ然ラザリシ場合モアツタケレドモ、其場合ノ例ト云フモノハ、寧ロ間違ッテ居ルノデアル、其間違ヲ襲踏スル必要ハナイ、斯ウ云フ事柄ニ歸着スル、ツレカラ又私ノ宿論デハナイガ、六十三號ハ飽マデモ憲法違反デアルト云フコトハ、私ノ論デアルケレドモ、既ニ法律トナッテ臺灣ノ情勢ハ内地ト同一デナイカラ、機宜ノ立法ヲ要スルト云フコトハ是認セラレテ居ル、臺灣ニ行ハルベキ法律ハ、或ハ帝國議會ノ協贊ヲ經、或ハ六十三號ガ委任シテ居ル立法ノ主義ヲ一貫スル、正則ノ立法變則ノ立法ト云フモノノ、二様ノ立法ガアルト、森田君ガ此兩様アルト云フコトヲ言ツタケレドモ、ツレハ面白クナイ、一ツニシタイト云フ感カラ、私ハ前回以來、此御尋ヲシテ居ルノデアリマス、デアリマスカラシテ、含マレテ居ル巡查看守ノ現狀ト云フモノニ、彼是ケチヲ附ケヤウト云フノデハナイ、即チ或場合ニハ寧ロ總督府ノ立法ノ機關ヲ少シ大キクデハナイ、適當ニシタラ宜イト云フ、私ノ好意デアアル、サウ云フ次第デアリマスカラ、研究ノ極、或ハ此案ガ共通ノ性質ヲ有シテ居ルノデハアルガ、其關係ノ範圍ハ寧ロ臺灣ニ多クシテ、内地ニ少ナイ、去レバトテ一部ヲ割イテ、臺灣ニ行フガタメニ、勅令ノ手續ニ依リ、又一部ハ内地ニ行フガタメニ、別段ナル手續ニ依ルト云フガ如キハ、面倒デアアルガ、帝國議會ノ協贊ヲ經ル、正則ノ立法手段ニ依レバ、兩方共宜イト云フコトニナルカモ知レヌ、其邊ノ研究ハ餘程私ハ日子ヲ費サナケレバナラヌガ、併シサウ大變ニ費サウト云フノデハナイ、二三日モ調べ戴イタラ分ルダラウト思フ

○和泉邦彦君 私ハ此事ニ附イテハ、前回ノ委員會ニモ缺席シマシタガ、質問モ多少其時分ニ御濟ミニナツテ居ル(「十分濟ンデ居ル」ト呼フ者アリ)其如何ニ依ツテ唯今ノ花井君ノ説ヲ、御決シニナルガ宜カラウト思ヒマス

○市岡政香君 花井君ノ説モアリマスガ、大分ハ質問モ盡キタカト言ヘバ盡キタコトハナイガ、併シナガラ事ヲ致スニ就キマシテ、鄭重ニ鄭重ヲ要スルト云フ花井君ノ議論デアリマスノデ、是ニ反對スル程ノコトハナイト思ヒマス、殊ニ臺灣ノ模様ヲ知ジテ居ルカト言ヘバ、聊カモ辨ジタコトモナク、僅ニ臺灣ニ行ハレテ居ル法律命令ト云フヤウナモノガ、一昨夜手許ニ達シタガ、ワレ程ムヅカシイコトハザイト思ヒマス、殊ニ花井君ノ説ハ兩三日ノ中ニ遣ルノデアリマスカラ、反對スル程ノコトモナイト思ヒマスカラ、花井君ニ賛成致シマス、所デ其委員ハ委員長ト理事ニ御願ヒ申シタイ、此御兩名デ御調査ヲ願ヒ、サウシテ委員會ヲ開クト云フコトニシタイト思ヒマス

○花井卓藏君 委員ハ他ノ御方ニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又質問ハ盡キテハ居ラヌノデ、若モ其他ノ諸君ニ於テ質問盡キタリト御看倣シニナッテ、

調査ノ必要ナシト云フコトナラバ、已ムヲ得マセヌカラ、私ハ是ダケニ就イテ質問致シマス、ドンドンヤッテ二三日間質問ヲ致ス、ソレデモ差支ナケレバ左様御承知ヲ願ヒマス

○星松三郎君、花井君ノ御説ハ、至極御尤モデ、私共ハ常ニ花井君ノ言論ニ對シテハ、同情ヲ表シテ居リマスガ、要スルニ此法案ト云フモノハ、畢竟糞ニ明治三十三年ノ三月三十一日文官ノ即チ巡查看守退隱料及遺族扶助法ト云フモノハ、既ニ本院ヲ通過シテ法律ニナツテ居ルノデアル、ツレデ以テ是ガ今度出タノデ、前回ニ私ガ御尋ネシタ、何故ニ此巡查看守ヲ殘シタノデアッタカト云フコトヲ御尋ネシタ所ガ、其當時出ス場合デハナカッタノデ出サナカッタト云フコトデアッタガ、何等ノコトデアッタカ知ラスガ、其當時臺灣一緒ニ出來ナカッタト云フコトダケデ、如何ノ事情ガアッタト云フコトヲ、御尋ネ申シタヤウナ譯デアリマシタガ、ツレト是トハ一向變リガナイガ、今回はニ就イテ大ニ攻究ヲ要スベキコトハ、詰リ此法律三十八號ニアル所ノ、所謂日本版圖内ニ行ハル、所ノ法律ヲ適用スルコトガ、臺灣ニ於テハ出來得ナイ、ツレ故ニ特ニ之ヲ單行法律トシテ、出スト云フコトニ先ヅ、私ダケハ解釋シテ居ルノデアル、ツレデ此論點ハドウデアアルカト云フト、臺灣ハ六十三號ヲ以テ法律令ト云フ名ノ下ニ、發布スルコトガ出來ルモノガアルニモ拘ラズ、何故ニ是ノミ即チ法律トシテ、本院ノ協贊ヲ得ヌケレバナラヌノデアアルカト云フコトハ、私モ如何ニモ錯綜シテ居ルト思フ、彼ハ本院ノ協贊ヲ經テ法律デアリタイ是ハ法律令ノ下ニヤリタイト云フ區々ノコトハ、如何ハシク思ハレルガ、去リナガラ此三十八號ヲ廢止シテ、而シテ此事柄ヲヤルト云フニアラズシテ、三十八號ト云フモノハ、一般日本版圖内ニ行フモノトスレバ、勢ヒ此法律デ以テ拵ヘタモノヲ、法律デ以テヤラヌケレバナラヌト云フノモ、一ノ議論デアルト思フ、寧ロ一ノ議論ヨリモ法律デ拵ヘタモノヲ、法律デアルト云フノハ、正理デアアルマイカト思ハレル、併シ六十二號ニ依ッテモ出來ヤウデヤナイカト云フコトハ、議論トシテハ私ハ矢張花井君ノ申ストコロノモノモ、敢テ理ナキニアラズデ、成ルベクハ錯綜ヲ避ケタガヨカラウト云フ考ヲ有テ居ル、然ラバ六十三號ハヨイモノカト云ヘバ、至テ氣向キノ惡イモノデアアル、ツロコデ是ハドウカト云フニ、六十三號ノタメニ是ガ迷兒ニナツテ居ルト云フ譯デハイカヌト思フ、是ハ是ニシテ一方ヲ判斷シテ極リヲ附ケニヤナラヌト、常ニ思テ居ル、ツレデ委員説モ二三日デ出來ルコトデゴザイマセウナレドモ、去リナガラ既ニ御質問モ澤山アッタコトデアルカラ、成ルベクハ此處デモウ少シ御質問ナサツテ、ドウカ今日はヲ極メルヤウニ致シタイト私ダケハ思テ居ル、獨リ私バカリデナイ、諸君ノ内デ或ハモウ少シ調べタガ宜シイト云フ御方デアツテモ、調べルト云フデモ、實ハ攻究ニ過ギナイ、其攻究ハ即チ法律ヲ制定スル上ニハ、最も必要ナコトデアリマスケレドモ、曩ニ此文官ニ對シテ三十三年三月三十一日ニ、文官ニ對スル退隱料及遺族扶助料ト云フモノガ、本院ヲ通過シテ居ルトスレバ、是レト變ラザルモノデ、唯年限ノ上ニ

於テ違フト云フニ過ギナイ話デアッテ、曩ノ事柄ガ或ハ見損ツタ不當ナモノデア
アツタトスレバ、別段ナ議論デアルガ、曩ニ本院ヲ通過シタ上カラ云ヘバ、獨
リ巡查看守ニ對スルモノダケ、此處ノ委員會デシテエラウ面倒ヲ惹起スト云
フノハ、權衡上之ヲ成立タシメナケレバナラヌト思フ、ソレデ私ノ考ハ質問
ト云フコトハ、勿論進ンデ致スガ宜シイガ、二三ノ日間ヲ與ヘテ、此頭デ調
ベヤウト云フ事柄ハ、ドノ邊ノ程度マデ御調ベニナルカ、ドウカト云フコトハ
別デアルガ、御調ベナサル上ニハ、議論ト云フ方ナラバ長ク續クカモ知ラヌ
ガ、質問ト云ヒ或ハ討論ト云ヒ、吾々ガ局外デ各個ニ御聞キ申スト云フコト
ニナレバ、容易ニ決シ能ハヌモノデ、其際限ガナイコトニナルト云フコトデ
アレバ、實ニ惜ムコトデアルカラ、成ルタケ進ムダケハ進ウ、ドノ途決定ス
ルコトニ致シタイト私ハ思フ、諸君ノ御趣意ハ如何デアルカ知ラヌガ、兎ニ
角私ハドウカト云フト質問ガ盡キタトスレバ、直チニ決スルト云フコトニ致
シタイ、即チ委員ヲ設ケテ調査セシムルノ要ハナイト思フ

○花井卓藏君 星君ガ攻究ノタメニ時日ヲ假シテ呉レト云フ、私ノ意見デ
アルカノ如クニ述ベラレタガ、攻究ノタメニ法律上ノ意見トシテ、ソレヲ定
メルガタメニ、其材料ヲ得ルガタメニ、其知識ヲ得ルガタメニ、假スニ時日
ヲ以テシテ貰ヒタイト云フ程、私ハ不明デハナイ、法律ノ問題トシテナラバ、
直チニ意見ガ述ベラレルノデアルガ、是ハサウデナイ、又是ニ牽聯シタ法律
ノ一二ヲ、星君ガ舉ゲラレタガ、或ハソレトモ牴觸シテ居ル法律ガアルカモ
知レヌ、元來委任立法ト云フ事柄自牴ガ、大ニ議論ガアル、律令ノ第五條ハ
大ニ議論ガアル、私ハ六十三號ノ法文ヨリハ、森田君ノ云ハル、如ク本案ノ如
キモノガ、勅令ヲ待タズシテ定メラレルト云フコトニナルト、六十三號ノ第
五條ト云フモノ、内デ、「將來發布スル法律ニシテ其全部又ハ一部ヲ臺灣ニ
施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ是ヲ定ム」ト云フノハ、明治二十九年
ノ立法者ハ、ドウ云フ目デ拵ヘタカ、斯ノ如キ事柄ニ質問ガアツタナラバ、本
院デ作リタル所ノ法律ニ對シテ、運用ガ適正ニ出來テ居ナイ、六十三號ノ五
條ヲ無視シテ居ルト云フヤウナ、非難モ入ルベキ餘地ガアルカモ知レナイト
云フコトヲ、憂フルノデアアル、ソレニ就イテハ理窟ヲ考ヘルノデナイ、是
ダケノモノヲ調ベルト云フ事柄ハ、卓ヲ並ベテ一枚々々讀デ往ケバ、日モ
亦足ラズデアアルカラ、寧ロ一二ノ委員ニ託シテ、調査シテ貰ツタナラバ、抄
取ガ早イデアアラウト思フ、質問ト云ツタ所ガ端緒ヲ質問シタダケデ、
本案自牴ニ附イテハ、一モ質問シテ居ナイ、併シナガラ私ノ云フ
コトガ、許サレヌト云フ意見ガ多數ナラバ、已ムヲ得マセヌカラ、法規提要
臺灣ニ關スル法規ト云フモノヲ、事毎ニ質問シテ要領ヲ得ヌケレバナラヌ、
然ル後ニ本案ノ根本タル法律第三十八號ニ附イテモ、一條ヨリ質問ヲ試ミテ、
然ル後ニ本案ニ這入ッテ質問ヲシテ、然ル後ニ審議決定シナケレバナラヌ、私
ハ責任ヲ負テ、私一人デモ議會閉會マデハ、慥カニ質問ヲ續ケル、サウ云フ
コトニナツテハ、際限ガナイカラ、委員ヲ選ンデ「ホイント」ト云フモノヲ拵ヘ

テ、サウシテ報告スルト云フ事柄ハ良イ、自分ノ家ヘ歸ッテ寐轉デ見ルト云
フ見ル方法モ樂デアアル、此處ニ斯ウシテ見テ居ッテ、質問シテ盡キルダラウト
云ツタトコロガ、盡キナイ證據ガアル、本案ニハチットモ這入ツタモノガナイ、
若シモ星松三郎君ガ全能力ニ依ッテ、私ニ理解スル方法ヲ御授ケ下サルナレバ
宜イガ、ソレハイテモ駄目ダラウト思ヒマス、多數決デドウデモ宜イ
○和泉邦彦君 是カラ協議會ニシテ、協議シテ見マセウ
○委員長石谷董九郎君 ソンナラサウシマセウ

(此時速記ヲ中止ス)

○委員長石谷董九郎君 ツレデハ市岡君ノ委員說ニ附イテ採決シマス、是ニ
御同意ノ御方ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 滿場一致

○委員長石谷董九郎君 滿場一致デアリマス

○星松三郎君 委員ハ委員長ノ御指名デ二名ニシテ……

○市岡政香君 委員長ト理事ニ願ヒタイ

○星松三郎君 贊成

○和泉邦彦君 贊成

○委員長石谷董九郎君 委員ハツレデ異議アリマセヌカー——異議ナケレバサ
ウ云フコトニシマス

○星松三郎君 サウスルト、此次ハ二十四日ニ御開キニナルヤウニ願ヒタイ

○花井卓藏君 マア調ベタ上ニシテ、日ハ定メルコトハ御免蒙リタイ

○委員長石谷董九郎君 ツレデハ是デ散會シマス

午後六時三十八分散會

明治三十五年二月二十日印刷

明治三十五年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局